分光分析

ICP発光分光分析装置

サンプル中の微量元素を簡単に定量化

- **高分解能（0.0045 nm）**
  金属・希土類・土壌の分析には高分解能が必要。妨害元素や主成分元素の影響を受けることなく、目的元素を微量まで高精度で分析可能。
- **長時間安定性を実現したツインシーケンシャル分光器**
  ガスパージが必要ないため、ガスの対流などによる揺らぎや汚染がない。安定化までの時間も短く、長時間の安定分析が可能。
- **簡単分析**
  デフォルトの分析条件があらかじめ準備してあるため、分析の開始が容易。測定可能な72元素の定性スクリーニングが3分で完結。

72元素の定性スクリーニングが3分で完結

- 20 mL程度の溶液サンプルがあれば72元素のスクリーニングが可能。
- 2台の分光器を同時かつ独立にコントロールすることで効率よく分析することが可能。
- 有機溶媒サンプルにも対応可能。
- オートサンプラー付きで複数サンプルも自動で測定可能。
- 多段階の定性分析により、最適な測定条件を自動で選択。
- 自動測定・自動消灯など無人運転に対応。

分析操作、装置の制御はパソコンで簡単操作

- プラズマの点灯から測定、解析、消灯まですべてパソコン上で制御可能。
- 分析中でもプラズマの状態や分析条件の確認、検量線のチェック、測定済み試料のデータやプロファイルの確認処理が可能。
- 分析を中断することなく、各処理が行えるため、分析時間を大幅に短縮可能。サンプルの状態についてもパソコン上で確認が可能。

多様な分野で高精度分析結果を提供

- 無機・電子材料分野
  金属、鉱物、ガラス、セラミックス、レアメタル、半導体
- 素材・化学分野
  化成品、石油、オイル、触媒
- ライフサイエンス分野
  血液、生物、植物、薬品、食品
- 環境分野
  水道水、海水、河川水、排水、土壌、汚泥、大気粉塵

（例：排水から合成した有機リン化合物中の金属元素濃度の分析を実施、検出限界以下であることを実証）

【担当者】
化学プロセス研究部門　高分子機能応用研究グループ　河津 貴大
連絡先：M-tohoku-nepp-ml@aist.go.jp

NEPP

産総研 ともに挑む。つぎを創る。